

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月24日	作成者名	佐々木 敏典	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	--------	------	------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
分野	01 協働	関係課	
施策	72 地域コミュニティの活性化		
施策の目的	より住みやすいまちとするため、地域の様々な課題について、市民自らが共に考え、共に解決していく社会の実現を目指します。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	町会・自治会活動支援事業
取り組み②	市民交流事業
取り組み③	地域コミュニティ推進事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
地区コミュニティ協議会数	コミュニティ協議会の設立数	団体	2	1	1	1	1	1	1
戸田ふるさと祭り来場者数	戸田ふるさと祭りが行われる2日間の来場者数	人	75,000	70,000	40,000	30,000	40,000	65,000	0
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	現在、市内の地域コミュニティについては、既存の町会・自治会を中心として形成されているが、町会・自治会において、加入率の減少や、担い手の高齢化などの課題があり、地域コミュニティが活性化しにくい状況である。また、町会・自治会の他にも様々なコミュニティ関連組織、市民活動団体等が存在し、地域において活動をしているが、相互の連絡体系が明確に整備されていないという課題があり、広域の地域コミュニティ組織の形成にまで至っていない。	対応策	まずは町会連合会を中心に、町会・自治会の加入促進や負担軽減に取り組み、活動の活発化へ向け支援していく。 さらに、町会・自治会を含めた地域で活動している様々な組織等が、相互に連携・協力することにより、地域コミュニティの活性化が図られることから、継続的に働きかけていく。コミュニティ施設では地域の意見を聞きながら、コミュニティ活動がより活性化されるように運営を工夫していく。併せて、戸田ふるさと祭りや市民憲章など、地域への愛着を促すための事業を実施していく。
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	地区コミュニティ協議会の設置が進んでおらず、遅れ気味の状況であるが、町会・自治会の活動の活発化や、効果・効率的な施設運営への支援は継続的に実施している。 ふるさと祭りや市民憲章は、市民による委員会により企画運営している。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	コミュニティ協議会設立は、地域の状況を把握し、最適なタイミングで取り組む必要がある。また、町会加入の促進や町会活動の支援、ふるさと祭り、施設の管理運営などは、随時見直しながら実施していく必要がある。地域コミュニティの活性化に向け、人員・予算とも現状維持しながらも工夫して取り組みたい。

## (評価者コメント)

地区コミュニティ協議会の設置により、地域コミュニティが活性化すると考えるため、その組織の中心となりうる町会・自治会の活動を活発化させる支援に取り組むことが重要である。地域で活動している市民活動団体等との連携・協力により、活発な町会活動が促進され、市民の地元地域への愛着意識を高めていくことにつながるよう、働きかけていくことが重要である。また、コロナ禍においても、工夫して市民活動推進事業に取り組むことで、地域コミュニティを活性化していく。
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月24日	作成者名	佐々木 敏典	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	--------	------	------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費  うち 一般財源		
				R2決算額		事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コメント	
		R3予算額		R 4 計 画 額	事業 の 方 向 性			施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性							
		事業内容				事業費	うち一般財源					人件費						
01 市民交流事業 (協働推進課)																		
		市民交流事業		1,164												任意	0	
				18,370														0
	01	02	01	13	01	01	1	○	C	B	C	B	1	○	B		より魅力ある祭りとなるよう開催内容や実施体制を検討していく。	
	戸田ふるさと祭りは、戸田ふるさと祭り実行委員会を中心																	
				19,084														
				19,080														
				8,724														
02 協働推進事業 (協働推進課)																		
		地域コミュニティ推進事業		2,501												任意	0	
				55,188														0
	01	02	01	13	02	02	4	○	B	B	B	B	4	○	A		町会・自治会活動支援事業と一体的に進めていく。	
	地域と行政との協働により、地域が持つ特性に合わせた地																	
				75,000														
				18,349														
		町会・自治会活動支援事業		42,346												任意	0	
				0														0
	88	01	02	01	13	02	9	○	B	B	B	B	9	○	終		地域コミュニティ推進事業へ統合する。	
	町会・自治会活動が円滑に行えるよう、町会・自治会加入																	
				0														
				0														
01 市民憲章推進事業 (協働推進課)																		
		市民憲章推進事業		1,069												任意	0	
				1,329														0
	01	02	01	15	01	01	6		B	B	B	B	6		C		継続的な啓発活動が必要だが、実施内容については、随時見直しをしていく必要がある。	
	戸田市民憲章の主文として掲																	
				1,329														
				1,329														
				1,731														
01 笹目コミュニティセンター管理運営費 (協働推進課)																		
		笹目コミュニティセンター管理運営費		79,497												任意	0	
				67,200														0
	01	02	01	19	01	01	1		B	B	B	B	1		B		地域コミュニティ活性化の拠点として、適切に運営していく。	
	指定管理者である笹目コミュニティ協議会による、センタ																	
				62,118														
				61,966														
				1,246														
02 新曾南多世代交流館管理運営事業 (協働推進課)																		
		新曾南多世代交流館管理運営事業		61,022												任意	0	
				61,857														0
	01	02	01	19	02	01	1		B	B	B	B	1		B		地域コミュニティ活性化の拠点として、適切に運営していく。	
	指定管理者制度を活用し、より多くの市民に施設を活用し																	
				61,500														
				59,874														
				1,316														
計 (千円)																		
				事業費	187,599												0	
				うち一般財源	185,803												0	

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和4年度で終了    8 令和3年度で終了    9 令和2年度で終了